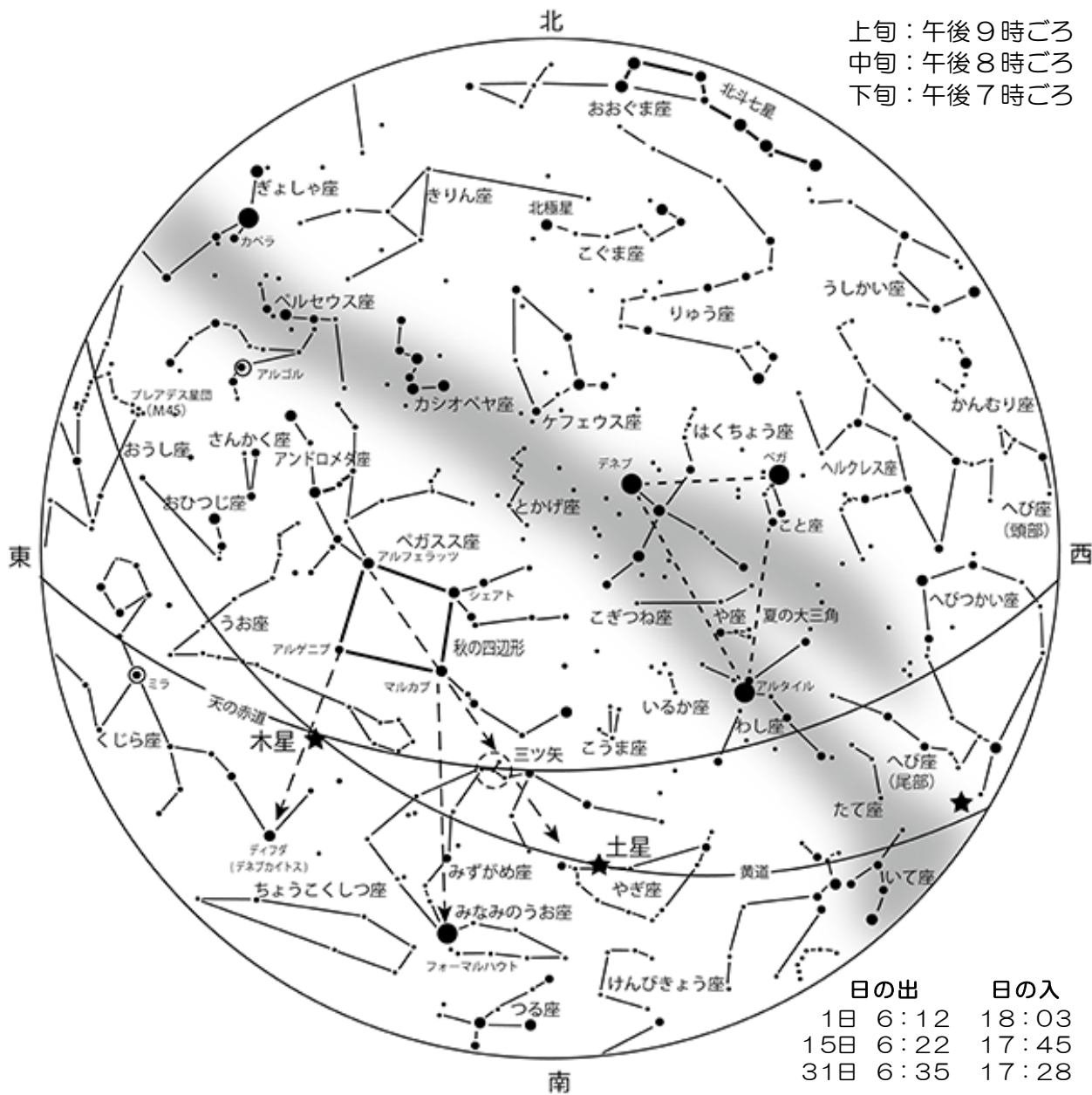


令和4年 10月の星空さんぽ☆ガイド

～ほしを眺めてみませんか～



上旬：午後9時ごろ
中旬：午後8時ごろ
下旬：午後7時ごろ

★10月の星空案内

日の入りの時刻がずいぶん早くなり、秋の虫の鳴き声が響き、秋の深まりを感じるようになりました。そんな10月の空には秋の星座が見えています。秋の星座を見つけるには東の空にある四角形の星の並び『秋の四辺形』を探す所から始めましょう。『秋の四辺形』はアルフェラッツ・シェアト・マルカブ・アルゲニブの4つの星からなります。まず、シェアトとマルカブを結んだ線を南にのぼすとみなみのうお座の1等星フォーマルハウトを見付けることができます。次に、アルフェラッツとマルカブを結んだ線を南西にのぼすと、アルファベットのYの字のような星の並びを見付けることができます。このYの字のような星の並びが『三ツ矢』と呼ばれるみずがめ座の目印です。アルフェラッツとマルカブを結んだ線をさらに南西にのぼしていくと、たくさんの星を結んでできる逆三角形をしたやぎ座を見付けることができます。また、今年はやぎ座付近には土星が輝いているので、土星を目印に探してもいいでしょう。最後に、アルフェラッツとアルゲニブを結んだ線を南にのぼすとくじら座の2等星ディフダ(デネブカイトス)を見付けることができます。また今年はその線上に木星が輝いています。ディフダは、アルゲニブと木星を結んだ線と同じ長さの分だけ南にさらに線をのぼすと見付けることができます。

10月の夜は、『秋の四辺形』や惑星をたよりに、秋の星座探しを楽しんでみてはいかがでしょうか。

【 見ごろの惑星 】 (☆マークは、今月のおすすめです。)

- ☆水星(-0.6等前後):おとめ座付近 日の出前、東の低空で輝く(上旬)
- 金星(-3.9等前後):おとめ座→てんびん座付近 観望に適さない。
- ☆火星(-0.9等前後):おうし座付近 午前0時頃、東の空で輝く。
- ☆木星(-2.9等前後):うお座付近 午後9時頃、南東の空で明るく輝く。
- ☆土星(0.6等前後):やぎ座付近 午後9時頃、南の空で明るく輝く。

注目の天文現象(10月) ~なかなか見ることのできない水星の観察にチャレンジしよう~

水星は地球から見ると太陽から大きく離れることがないため、観察が難しい惑星です。そんな水星を観察しやすいのは、最大離角(地球から見て太陽の方向から最も東や西に離れる時)の前後です。水星は10月9日に西方最大離角となります。この日は、日の出30分前の高度が10度を超え水星を探すチャンスです。

チャンスとはいえ、水星は昇ってから1時間も経つと空が明るくなり見られなくなってしまいます。

ですから、日の出前から観察を始めてください。最大離角となる10月9日は、久留米市の日の出の時刻が午前6時17分なので、午前5時30分から午前6時頃東の空を観察してみましょう。また、探す場所にも注意してください。山や高い建物等で視界が遮られていると、空の低い位置まで見渡すことができません。右の図のように午前5時30分は10度以下、午前6時でも約14度と低空にある水星を見つけるためには、東の方位が開けている場所で観察してください。水星は低空にあり、見ることができる時間も限られているので難しいかもしれませんが、水星の観察にチャレンジしてみませんか。

日	曜	天文現象	日	曜	天文現象
3	月	☾ 上弦 (09:14)	18	火	☾ 下弦 (02:15)
9	日	水星が西方最大離角	25	火	● 新月 (19:49)
10	月	☉ 満月 (05:55)			